

県感染症情報センター

海外旅行中に注意すべき感染症<上>

声なき 感染症を知る ◆13◆

この時期は、夏休みを控え、海外旅行の計画を立てている人も多いと思います。今月と来月の2回にわたり、海外旅行中に知っておきたい「感染症についての知識と予防」について紹介します。渡航先や旅の内容によってリスクは異なりますが、一般的に次のことに注意してください。

▽口から感染する病気  
感染するリスクが最も高いのが、生水に潜る大腸菌(毒素を産生する大腸菌)、赤痢菌、コレラ菌、A型肝炎ウイルスなどがあり、いずれも下水設備の整備が十分でない東南アジア、アフリカ、中南米などの開発途上国からの帰国者に多く患者がいます。伝播(でんぱ)は、患者のふん便↓河川・土壌↓井戸水・沢水などのサイクルで発生するのです。

▽蚊に刺されること  
熱帯・亜熱帯地域への渡航で注意してほしいことは、蚊に刺されないことです。デング熱やチクングニア熱は、ウイルスを持った蚊に刺されることで感染します。蚊は俗に言うヤブカ(ネツタイシマカ)とヒトスジシマカが媒介します。

▽動物に咬まれて感染する病気  
狂犬病は、狂犬病ウイルスを持つイヌだけに咬まれることで感染すると思っていませんか? 媒介動物は、その他にネコ、アライグマ、コウモリなどもウイルスを保有すること

屋台を避け、十分加熱調理されたものが安全で、生野菜、カットフルーツ、かき水などは要注意です。

も高いのが、生水に潜る大腸菌(毒素を産生する大腸菌)、赤痢菌、コレラ菌、A型肝炎ウイルスなどがあり、いずれも下水設備の整備が十分でない東南アジア、アフリカ、中南米などの開発途上国からの帰国者に多く患者がいます。伝播(でんぱ)は、患者のふん便↓河川・土壌↓井戸水・沢水などのサイクルで発生するのです。

生水や生野菜注意  
デング熱拡大傾向

▽蚊に刺されること  
熱帯・亜熱帯地域への渡航で注意してほしいことは、蚊に刺されないことです。デング熱やチクングニア熱は、ウイルスを持った蚊に刺されることで感染します。蚊は俗に言うヤブカ(ネツタイシマカ)とヒトスジシマカが媒介します。

▽動物に咬まれて感染する病気  
狂犬病は、狂犬病ウイルスを持つイヌだけに咬まれることで感染すると思っていませんか? 媒介動物は、その他にネコ、アライグマ、コウモリなどもウイルスを保有すること

また、デング熱は、世界中で年間数千万人が感染するとされており、流行地域は拡大傾向(台湾、中国広東省など)にあります。特に、マレーシア、フィリピン、シンガポールなどは年間を通じて流行しています。昨年の日本での国内流行は、大きな話題となりました。もし、帰国後に発症した時は、ヤブカに咬(か)まれないことが、周りの人に感染させないために大切なことです。

もう一つ、知っておきたいのがチクングニア熱です。デング熱と同じヤブカが媒介しま

す。主な流行地域や症状はデング熱と似ており、2011年以降、国内でも毎年10人ほどの患者が確認されています。

ともに予防ワクチンはありません。滞在期間が長いほど、また流行が激しい地域ほど、リスクは高まります。虫除けスプレーの使用は有効です。

▽動物に咬まれて感染する病気  
狂犬病は、狂犬病ウイルスを持つイヌだけに咬まれることで感染すると思っていませんか? 媒介動物は、その他にネコ、アライグマ、コウモリなどもウイルスを保有すること  
が分かっています。国内での感染例は1957(昭和32)年以降発生しておらず、2006(平成18)年のフィリピンで咬まれた帰国者2人の感染者が最後で、日本は世界的に数少ない清浄国なのです。  
しかし、流行地域は世界中に分布しており、特にアジア(中国、Bangladesh、インドなど)で多くの報告があります。発症すると有効な治療法はありませんので、野犬や野生動物との接触を避けることが重要です。  
(県感染症情報センター) 第2木曜日掲載